

# 甲南Today

2008 OCT NO. 31

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ

甲南Today No.31

2008年10月1日発行

【発行】

甲南学園広報部

〒658-8501

神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)

特集1

## 甲南キャリア教育最前線

特集2

## 2つの新学部に迫る



自らが震災で学んだ「助け合い」の心で、  
中国の被災者を応援する。



「真の教育とは、人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を引き出すことである」と提唱した、甲南学園創立者平生凱三郎。そんな平生の想いを込め、今、甲南学園で光り輝いている学生・生徒をご紹介します。

自治会中央委員会 文学部 4年次生

**荒川 育未さん(右)**

卒業後は、SEとして就職。「残りの大学生活は、まずは卒業論文。仲間とも思い出をいっぱいつくりたい」。

自治会中央委員会 経済学部 4年次生

**木田 美也子さん(左)**

ヤンマー系列の企業に就職が内定。「卒業しても、人や社会のために援助を惜しまない人になっていきたい」。

(神戸新聞 2008年6月11日朝刊)



荒川さん、木田さんの募金活動の取り組みは、新聞にも掲載された。

今年5月に起こった中国・四川大地震。その被災者救援のために募金活動を行った甲南大生がいる。学生自治会の木田美也子さんと荒川育未さんだ。彼女たちは、小学生のときに阪神・淡路大震災を体験した。自らが大地震を経験したからこそ、中国の被災地の人々の気持ちがわかる。木田さんは、自宅周辺が倒壊し、不安なときに周りの人が助けてくれたことが身に沁みだ。「近所の人に電話を借りに行ったことも覚えています。あの地震で、助け合つことを学びました」。荒川さんも、「何かしたい」と感じた。「震災を経験し、神戸の大学にいる私たちが、何もなくてどうするんだ」と。こうして、2人は学生自治会のメンバーとともに、昼休みにキャンパスで募金活動を開始。その後、「学外でもやるべきだ」と、阪急岡本駅前での街頭募金活動も行った。

集まったお金は、総額156,300円。でも、得られたことは、お金以上に大きかった。木田さんは、「人前で声を出すのも苦手だった私が、すごくアクティブになれたんです。人のためだけではなく、自分の殻も破れました」と語る。「たぶん、ひとりではできなかった。手伝ってくれた仲間の力が大きい。今、後輩たちも、岩手・宮城内陸地震の被災者救援募金をやっています。そんな姿を見るとすごくうれしく、荒川さんも満足げた。人と人は、助け合いながら生きるもの。だから、誰かが困ったときには、少しでも力になりたい。そんな2人の想いを、今では、後輩たちが確実に受け継いでいる。



インターネットで甲南へ

<http://www.konan-u.ac.jp>



## 2 WHAT's NEW KONAN 「甲南平生国際フォーラム」 人物教育を志し10月17日テイクオフ！

学園創立90周年記念

## 7 甲南キャリア教育最前線

〈特集1〉

9 中西香爾先生・岡田節人先生  
文化勲章受章記念講演会

14 フランス甲南学園トゥレーヌだより

10 「第1回地域交流健康講座」開催  
身体だけでなく、心も元気に！  
甲南大学式フィットネステスト

15 なるほど！甲南アカデミア  
ものまねタレントの声は  
なぜ本人そっくりに  
聞こえるのか？

11 オール甲南の集い Report

17 こちら甲南特捜部

13 高・中TOPICS  
数多くの体育系クラブが、  
全国大会へ出場。

現代講座は、学生たちが  
企画しているって本当ですか？

## 19 2つの新学部へ迫る

〈特集2〉

2009年4月「マネジメント創造学部」と「フロンティアサイエンス学部」が誕生。  
学部長が語る、新しい学びの可能性。

21 IT's KONAN STYLE

多くの仲間と出会い、人から多くのことを学んだ甲南時代。  
だから、今の自分がある。

ジャーナリスト 仲野 博文氏

23 甲南学園の歴史と文化をつくった人々

24 甲南フォーラム

裏表紙 ONLY ONE 個性を力へ



【表紙の絵】西井 義晃 画

「14号館先端生命工学研究所 (FIBER) 棟  
DNA二重らせん構造のモニュメント」

西井 義晃さん プロフィール 1961年甲南大学経済学部卒業 元自由美術会員  
次のURLで作品集をご覧ください <http://webgarou.net>

学園創立90周年記念

# 甲南平生国際フォーラム

人物教育を志し10月17日テイクオフ！

2009年に甲南学園は創立90周年を迎えます。これを機に、100周年をも視野に入れたテイクオフ・プロジェクトとして「甲南平生国際フォーラム」を開催します。創立者平生鈺三郎が志した「東洋一ノ大学（人物教育ヲ率先）ノ創立」、「世界に通用する人材の輩出」といった建学の精神と理念に思いを馳せつつ、文明・文化が錯綜する21世紀の国際社会を「人と人との関係」から見直す——これが大きな目標です。そのために、毎年異なる国や地域にスポットを当てて、外交、環境、経済、芸術、スポーツ、文化など幅広いテーマを取り上げます。世界の今に精通した現役外交官や駐日大使、専門家を招いた「シンポジウム」ではグローバルな視野と展望のなかに甲南学園をおき、世界とは何かを、やはり「人と人との関係」を中心に考え、各国・各地域が抱え、織り成す多様な課題の実相を捉え直し、国際理解と友好親善をめざします。ここにいうフォーラムとは、単に議論の場ではなく、知的交流が行われる場であり、機会だと考えています。そこで、食や音楽、あるいは映画といった身近なトピックから、その国や地域を体感するイベント「スペシャル・ウィーク」も同時開催します。甲南平生国際フォーラムは、甲南生に加え、ご父母や卒業生の皆さま、教職員、地域社会の方々を取り結び、ひとりひとりの個性や生き方、自らの立ち位置を見直すとともに、「人物教育ヲ率先」を志した平生の意図を21世紀の今どのようにつねえるのか、問い直していきます。





# 新たなパートナーシップを求めて 第1回シリーズのテーマは「アジア」

「人物教育ノ率先」を基盤に「東洋一の大学」を掲げた創立者平生夙三郎。彼のいう「人物教育」を問い直すべく、甲南平生国際フォーラムでは、記念すべき第1回シリーズの地域として「アジア」をとりあげます。グローバル経済の原動力となり、情報化の波に乗って豊かさを手にしつつあるアジア諸国。ダイナミックに変貌をとげるアジアの人びとは今何を考えているのか。今の日本をどのようにながめ、われわれに何を期待しているのかをシンポジウムで議論します。スペシャル・ウィークでは、アジアの“食”をテーマにした屋台を出店したり、音楽イベントも予定しています。

## 第1回

2008年10月17日(金) 14時～17時30分

**アセアンから見える日本、  
日本から見えるアセアン**  
―その狭間から見えてくるアジアの未来―

【場所】ポートピアホテル 偕楽の間

【内容】第1部 基調講演：赤尾信敏(国際機関 日本アセアンセンター事務総長)

第2部 講演：モセス・タンドゥン・レラティン(在大阪インドネシア総領事代行)

スボット・イサラングーン・ナ・アユッタヤ(在大阪タイ総領事)

レー・ドゥック・リユ(在大阪ベトナム総領事)

第3部 パネル・ディスカッション

「アセアンから見る日本企業人の新たなアジア戦略」

第1部から第3部で出演されたゲストをパネリストに迎え、ディス

カッションを行います。

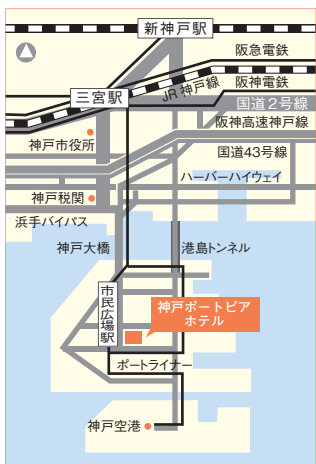
○モデレーター 安積敏政(本学経営学部教授)

○総合司会 井野瀬久美恵(本学学長補佐)

【申込み】同封のアンケートはがきでお申し込みください。

## シンポジウム

アジアの今を知るゲストを迎え、  
1ランク上の議論の場に。



※敬称略

## スペシャル・ウィーク

アジアの文化を肌で感じる、  
お祭り感覚の体験イベント。

シンポジウムを開催する1週間を

「スペシャル・ウィーク」と題し、学生が  
主体となって、フォーラムのテーマに選

ばれた国・地域のさまざまな文化を  
体感する多彩なプログラムを催しま

す。アジアをテーマにした第1回目の  
シリーズでは、各国の食が楽しめる屋

台、伝統音楽の演奏など、五感で、楽

しみながら各国の文化について理解を  
深めていきます。

【日程】2008年10月13日(月)～

10月17日(金)

【場所】2号館前 11時30分～14時30分

## 第2回

韓国とのより成熟した  
パートナーシップをめざして

―人の交流と人材育成の視点から―

【日時】2008年11月28日(金) 15時～

【場所】甲南大学甲友会館

【内容】基調講演：呉榮煥(駐大阪大韓民  
国総領事)「日韓がより成熟した

パートナーとなるために」

○モデレーター 高龍秀(本学経済  
学部教授)

※お申し込みは不要です。 ※詳細はホームページをご確認ください。

## イベント・コンサート

### 中之島国際音楽祭

【日時】11月22日(土)

13時30分～15時45分

【会場】大阪市中央公会堂

【問合せ】中之島国際音楽祭実行委員会  
事務局

(06・4792・2061

平日9時30分～17時)

【チケット】チケットぴあ

の申込 (0570・02・9999)

ファミリーマート・サークル・

サンクスほか

2500円

【主催】中之島国際音楽祭実行委員会

## 特別企画

### 貴志康一・生誕100周年記念 シンポジウムとコンサート

【日時】2009年1月18日(日)

【場所】新神戸オリエンタル劇場

【内容】基調講演：小松一彦(指揮者・大阪芸術大学  
大学院教授)

コンサート：中嶋彰子(オペラ歌手・ウィーン  
在住)



※敬称略

日本における抽象美術の  
先導者・長谷川三郎。甲南学  
園には、長谷川三郎記念ギャ  
ラリーがあります。本展は、  
その所蔵から、平面タブ  
ロ、素描、立体作品、その  
他の資料に加え、国内に残  
る代表作により構成します。  
日本に抽象美術を紹介し、  
注目を浴びながらも惜しま  
れつつ早世した長谷川の世  
界をご堪能いただけます。

## 展覧会

### 日本抽象のパイオニア 長谷川三郎展

【日時】2009年1月4日(日)～

2月8日(日)

【場所】明石市立文化博物館

電話番号 078・918・5400



電車 JR・山陽電鉄明石駅より北へ徒歩5分  
自動車 第2 神明大蔵谷出口より南西へ10分  
第2 神明伊川谷出口より南へ10分

甲南学園は90年の歴史の中、世界的な功績を残した人物を多く輩出してきました。甲南平生国際フォーラムの特別企画として、旧制甲南高校で学んだ音楽家・貴志康一をクローズアップしたシンポジウム・コンサートを開催します。また、明石市立文化博物館では、旧制甲南高校第1回の卒業生である芸術家・長谷川三郎の作品展が開催されます。あらためてお二人の豊かな才能と業績に触れていただくとともに、自由でリベラルな校風を持つ甲南学園だからこそ、彼らのような個性ある人間を育み、慈しんだことを多くの方々に知っていただく機会になればと考えています。

## 長谷川三郎

時を経て今なお新しい、  
甲南が誇る日本抽象美術の先導者。

## 貴志康一

今、再び記憶によみがえる、  
甲南が育んだ才能豊かな音楽家。

世界に誇る

# 甲南人



WHAT's  
NEW  
KONAN

「芸術」というフィールドで 世界に名を馳せた、偉大なる2人の甲南人。

長谷川三郎の作品と生涯

●1906～1929  
東大卒業まで

自己の創意を発現させること、目と心に感じたままを率直に表現する事を重視した時代。大づかみな描写、激しい動的な筆触は、小出から受け継いだと思われる。



風景 [1924年ころ]

●1930～1935

留学から新時代洋画展時代まで

この頃、画家になる事を決意。イタリアのエトルスクとルネサンスに熱烈な印象を受ける反面、新しく興起しつつあった抽象絵画やパウハウス運動にも関心を持った。



婦人像3 [1931年ころ]

●1936～1939

抽象様式の時代

戦前の抽象様式が充実し、日本の抽象絵画の先駆者として抽象的画風を確立した時期。日本の近代絵画史に残る名作とされる「蝶の軌跡」「メトロポリス」が制作された。



新物理学 B [1937年ころ]

●1940～1947

沈黙時代

この期間は作品の制作を全くせず、茶道を修め、俳句をつくるなど、知識として吸収するだけでなく、実践することで精神を体得しようとした。

●1948～1957

戦後

沈黙時代を抜け出し、作品制作を再開。イサム・ノグチと日本美に在る精神性のすばらしさに共鳴しあい、日本の心を表す伝統的な技法を基にした抽象的書を制作するように。1948年に渡米後、1957年アメリカで客死。日本の伝統的な作法による新しい作品はアメリカでは高い評価を得ました。



無題 (石器時代土偶による) [1948年ころ]



Numbers One Ten [1955年ころ]

「画・論」乾由明氏「長谷川三郎—芸術と思想」から

甲南が世界に誇る  
前衛美術の  
先駆的画家。



# 長谷川三郎

1906～1957

西洋と東洋の芸術理念を融合し、オリジナルの芸術を創出。

日本に抽象芸術を広め、前衛美術の先駆者として高く評価された偉大な画家、長谷川三郎。西洋の美術理念に傾倒しながらもそのみに埋没することなく、東洋的、伝統的な美と精神性を尊重。その両者の融合をオリジナル・テイに富む絵画作品と優れた理論で実践し、追究したことに、彼の偉大さがあります。

甲南との出会いは1918年に甲南小学校に編入、翌1919年の甲南中学校への進学に始まります。そして、甲南高等学校に進んだ彼は、大阪信濃橋洋画研究所で関西画壇の発展に情熱を注ぐ小出樞重に師事したことをきっかけに、絵画に人生を賭けることになるのです。

高等学校卒業後、東京帝国大学文学部美術史料科に進み、美術の実技と理論を追究。理論家、評論家としての力を磨き、大学卒業後は欧米、欧州に遊

甲南に育まれた  
絵画における、自らの「天才」。

甲南学園創設者平生鈆三郎が語る「すべての人は天才である。その天才を発揮させていくということが、人間を作ることの本義でなければならぬ」という教育理念と「個性尊重」をコンセプトとする自由でアカデミックな校風が彼の胸に新鮮な感動を生み、高き理想が萌え出たことは想像に難くありません。甲南との出会いが、既存の枠にとられない自由な発想、大胆な創作活動、鋭い批評眼という優れた資質の芽を育むとともに、彼自身の画家としての理想実現を邁進させることにつながったといえるでしょう。



甲南で育ち、  
海外で開花した  
夭折の天才音楽家。

# 貴志康一

1909～1937

ベルリン・フィルで、  
指揮者、作曲家として華々しく活躍。

甲南高校に学んだ、日本を代表する音楽家貴志康一。海外の音楽学校でヴァイオリニストとしての腕を磨くとともに、ベルリン・フィルの巨匠フルトヴェングラーのもとで指揮者、そして作曲家としての才能を開花させました。ベルリン・フィルを指揮し、自作の交響組曲も披露して華々しく活躍したのです。後に、彼の作曲したヴァイオリン曲「竹取物語」が、湯川秀樹博士がノーベル物理学賞を受賞した際の晩餐会で演奏されたことは有名な話。1935年の帰国後は、宝塚交響楽団、新交響楽団などで精力的にコンサートを行います。が、まもなく病に冒され、28歳の若さでこの世を去りました。

甲南の自由な校風の中で  
磨かれた音楽家としての才能。

貴志康一が、甲南小学校に転校した

のは1919（大正8）年4月、5年生の時でした。当時、甲南小学校は学園創立9年目で、創立者・平生鈆三郎の掲げた理想の教育、のびのびとした雰囲気の中、豊かな個性を伸ばすことに主眼が置かれていました。こうした甲南の自由な校風の中で、彼の音楽家としての天分が磨かれたことは言うまでもありません。没後、戦争や戦後の混乱のため、長らく忘れられていた貴志康一が復活するのは、1976年に自筆の楽譜など、彼の遺品のはばすすべてが、母校甲南高校に寄贈されてから。甲南では彼の輝かしい業績をよみがえらせ、かつ生徒の音楽教育に役立てるため、貴志康一記念室を設けるほか、楽譜の出版やレコード、CDの制作、コンサートの開催などの活動にも取り組んできました。彼の再評価は進み、現在では作曲家としても指揮者としても、日本の音楽史上忘れられない大きな存在となっています。

貴志康一のエピソード

貴志康一の第九

現在では珍しくはないが、戦前スコアなしの暗譜で交響曲を指揮することなど考えられなかった。それを、貴志康一が1936（昭和11）年、新交響楽団（現在のN響）のベートーヴェン「第九」演奏会で初めてやってのけた。康一は、日本の「第九」を語る上で、演奏史上欠かせない存在になっている。



湯川秀樹と竹取物語

貴志康一の作品の中で、「竹取物語」が特に有名になったのは、湯川秀樹博士がノーベル賞を受賞した時、授賞式後の晩餐会で演奏されたから。晩餐会で日本を代表する曲として選ばれたのだ。その晩餐会の席で演奏された記念に湯川博士がサインした楽譜は、現在貴志康一記念室に大切に飾られている。

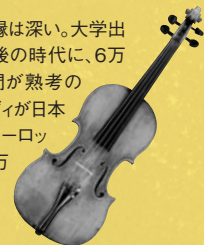


朝比奈隆の友情

朝比奈隆と貴志康一は、深い友情で結ばれていた。朝比奈は1978（昭和53）年、甲南高等学校に大フィルを率いて来演し、康一の交響組曲、歌曲、ヴァイオリン協奏曲を指揮した。康一と合奏するという朝比奈の夢が、康一没後41年目に実現したこの演奏会は、「朝比奈、友情のタクト振る」と新聞やテレビ、ラジオで大きく報じられた。

ストラディヴァリウス

貴志康一とストラディヴァリウスの縁は深い。大学出のサラリーマンの初任給が60円前後の時代に、6万円もするストラディを、父の彌右衛門が熟考の末、買い与えたのだ。「康一のストラディが日本の音楽の発展に繋がるのなら」と。ヨーロッパから帰国したとき、どの新聞も「6万円といふ名器抱いて、若き貴志君帰る」と書き立てたのである。





石井昇新所長が語る、キャリアセンターの展望。

# キーワードは、

# 潜在的な力の底上げ。

甲南大学のキャリア教育は、学部で学ぶ専門が自分の進路にどのように生かされるのかを考えていく実践的な内容です。文部科学省の現代GPにも採択されたこのキャリア教育を踏襲しながら、さらに新たな取り組みを試みています。そのひとつが、**メディア人養成セミナー**の開講。これは、単なるマスコミ・メディア業界への就職支援プログラムでなく、現代のメディア人に求められる確かな眼と感性を養い、自らの生き方を考える講座です。こうした新しい取り組みを実践するとともに、キャリア教育で最も注力したいのは、就職直前のサポートだけではなく、甲南大学生の潜在的な力の底上げです。コミュニケーション力やリーダーシップなど、いわゆる「社会人基礎力」や「学士力」と呼ばれる、社会や企業で必須の能力を、低学年の早いうちから養っていく教育を行っていききたい。その力さえあれば、今後不況が来ようと、恐れる必要は全くないと思うのです。

これから就職活動をはじめる3年次生のみなさんへ  
景気が後退するなか、現在3年次の就職戦線は、ここ数年に比べて厳しい状況になることが予測されます。そこで、これから就職活動を行うみなさんには、キャリアセンターが開催する講座や企業セミナー、OB・OG懇談会へ積極的に参加していただきたい。そして、キャリアセンターにもっと足を運んでいただきたい。ここには、甲南大生に期待する多くの企業の求人票があり、進路相談カウンセリングなど、個々の学生に合った支援をする、CDAの資格を備えたスタッフもいます。就職活動をWEBだけに頼る学生も多いようですが、就職活動とは、自分の足を使って情報を集め、人と接することで自分の進路を確かにし、結果をつかんでいくもの。そのために、われわれも、もっとキャリアセンターを活用してもらえる施策を考えていきます。

※厚生労働省指定のキャリア・コンサルタント能力評価資格

法科大学院教授  
キャリアセンター所長  
**石井 昇**

一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得退学、法学博士。2008年4月にキャリアセンター所長に就任。甲南大学法学部教授を経て、2004年4月から法科大学院教授。2000年4月、2002年3月教務部長、2002年4月、2004年3月法学部長。2006年4月、甲南大学企業法務研究所兼任研究員を歴任。

NOBORU ISHII PROFILE



朝日放送プロデューサー、映画監督、現役モデル等  
メディアで活躍する方々が講師に。

メディア・マスコミに興味を持つ1・2年次生対象の「甲南ファーム」と、就職を視野に入れた3年次生対象の「甲南ロード」で構成。テレビ・新聞・web・ゲームなど、多彩なメディアのテーマについて特別講義を行います。

## 本物がわかる感性、あふれる情熱、 甲南大生にはメディア人に必要な資質がある。

放送メディア業界も、大学のブランド名で採用する時代は終わりました。これは、放送局側にも危機感があり、本当にいい人材を渴望しているということ。今メディアが欲しい人材とは、「ソーシャル・プロデューサー」です。自分の眼で見たモノをきちんと自分の心で受け止め、それを表現できる人間。そこには、感性の部分が求められます。優れたメディア人は、人の心に影響を与え、その結果社会をプロデュースできるのです。そして、こうした能力は、どの分野に進もうと通用するでしょう。私が思うに、甲南大生は、「素直さ」という、メディア人として一番大切な資質をもっています。ピュアだから、超一流の人の話を「すごい」と感じ取る。一度スイッチが入れば秘めた力が目覚める。だから、予想していた以上に伸びしろが大きかったです。講座が終わっても質問攻めの甲南大生にあふれる熱意を感じました。私もその情熱に応えようと、受講者一人ひとりの志望職種や受講感想をまとめたカルテをつくり、寺小屋のように一人ひとりの顔が見える指導を行っているのです。

### ●講義内容

◎「甲南メディア・ファームへようこそ! マスコミへの道 入門講座」講師：朝日放送プロデューサー・朝日放送総務局局長・番組審議会事務局長 小関道幸氏 ◎「伝えよう! キミのメッセージ—映画制作と俳優論—」講師：俳優・映画監督・プロデューサー・演技講師 塩屋俊氏 ◎「テレビ制作現場最前線—ディレクターへの道—」講師：制作会社タキシース代表 稲塚秀孝氏 ◎「トップモデルからマルチタレントへ—私が歩んで来た道—」講師：モデル・タレント アン・ミカ氏 ◎「ゲーム制作の理論と実践—ファイナルファンタジーでの体験—」講師：音楽プロデューサー 池田陽介氏

### ●講義内容

◎「マスコミへの道・入門ガイド」講師：小関道幸氏 ◎「伝えたい。このメッセージ」講師：塩屋俊氏 ◎「テレビ報道番組の作り方」講師：「報道ステーション」プロデューサー 堀内雄一郎氏 ◎「新聞記者入門—取材者の目—」講師：(株)朝日カルチャーセンター大阪代表取締役 丸山長平氏 ◎「表現するココロ」講師：アン・ミカ氏 ◎「マスコミへの道2008(+面接)」講師：小関道幸氏

### ●インターンシップ先

◎(株)ワイズプロジェクト ◎(株)ウイル・ドゥ ◎朝日新聞社 ◎(株)電通 ◎(株)デイリースポーツ ◎日刊スポーツ新聞社

### ●講義内容

◎「テレビ局が今、必要とする人材とは?」講師：テレビ朝日前事務局長 木村寿行氏 ◎「新聞社が今、必要とする人材とは? —エントリーシート作成のコツ—」講師：丸山長平氏 ◎「在阪テレビ局受験の傾向と対策—面接対策・エントリーシートを中心に—」講師：小関道幸氏 ◎「ようこそ先輩! 在阪局の新人アナウンサーが、新人局員が対面セミナー形式で対策を伝授」講師：各テレビ局アナウンサー・局員

## メディア人養成セミナー



セミナーの  
コーディネーター

朝日放送株式会社  
総務局 局次長  
番組審議会事務局長

**小関 道幸氏**

MICHIYUKI OZEKI PROFILE

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、1972年朝日放送へ入社。番組宣伝部長、報道局次長などを歴任。



セミナーの仕掛人、学長補佐に聞く

高い志やモラルが  
求められるメディア、  
そのために、  
本物を見る眼を養う。

文学部教授  
学長補佐  
**井野瀬 久美恵**



KUMIE INOSE PROFILE

京都大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学、博士(文学)。2008年4月学長補佐に就任。朝日放送番組審議会審議委員(副委員長)、兵庫県長期ビジョン推進委員会委員、大阪府河川整備委員会委員、和歌山市教育指導主事など多くの学外委員を務める。

われわれが知る現実とは、メディアによってつくられる部分が大きいもの。そして、メディアとは、人の手による情報操作が可能。そのため、高い志やモラルでしか支えられない。危うい、ものなのです。だからこそ、つくる側としても、見る側としても、高い意識を持ったメディア人を育てることが、大学の教育として必要だと感じました。一方で、現実には、社会に強くなるためにも、メディアを知ることは最良の教育となるはず。この「メディア人養成セミナー」で徹底したのは「本物」を見る眼を養うこと。そのために、講師陣は、過去の人ではなく、今まさに第一線で活躍している、一流の方々をお願いしました。現場でのインターンシップも設け、メディア人が何をしているかを探り、今まさに現実がつくりだされる瞬間を体験してもらいます。さらに、この講座のもうひとつの役割は、単に就職に直結するためだけでなく、学生たちが自分の生き方を考える場となること。メディア人の生き方を通して、自分自身の志やモラル、ひいては自分の将来を考えるきっかけになればと思います。



# 中西香爾先生・岡田節人先生 文化勲章受章記念講演会

卒業生の中西香爾先生(旧制甲南高等学校 昭和19年卒)、岡田節人先生(旧制甲南高等学校 昭和22年卒)の二人が2007年11月3日に文化勲章を受章されたことを記念し、2008年5月24日に甲南大学142講義室にて記念講演会を開催しました。当日は、雨の降る足元の悪い中、500人近くの方が参加してくださいました。

講演に先立ち、吉沢理事長から、「甲南学園は、創立以来、一人ひとりが持つ個性・天賦の才をひきだす教育(education)理念を建学の精神としてきました。中西先生、岡田先生は、「香爾(こおじ)」、「節人(ときんど)」とお名前からして個性豊かです。きっと個性的な人物に育てたいというご両親の想いがあり、また、甲南学園の教育が、お名前に表された非常に強い個性を引き出していたのだでしょう。創立者の平生先生は、お二方の同時受章を非常に喜ばれているのではないかと思います。両先生の功績や文化勲章の受章が、学園に輝きを与えてくれ、これを好機にし、「個性を力へ」もっていく教育を推進していきたいと考えます」との挨拶がありました。

引き続き、高阪学長から、「日本の最高の荣誉である文化勲章は、昭和12年に制定され、今まで338人が受章されました。昭和12年という、平生先生

は、広田弘毅内閣の文部大臣をされていたときです。教育・文化で日本を立て直そうと義務教育6年制を8年制にのばす義務教育法を作りましたが、広田内閣総辞職により、日の目を見ませんでした。私は、文化勲章を広田内閣で発案されたのは、平生先生ではないかという考えに思っています。昭和12年2月に制定され、70年目にお二方が受章されたのは、非常に記念すべきことで、平生先生の理想教育の集大成がお二方に顕れていると思います。この縁は、甲南学園において、学術、教育、研究に力を入れなさいと論されているのだと感じます」との挨拶がありました。

また、中西先生の1年後輩、岡田先生の同期である吉川精甲南学園同窓会長(旧制甲南高等学校 昭和21年卒)からは、学生時代から際立つ個性を発揮されたお二方の思い出を披露いただきました。

## 甲南大学 名誉博士称号授与式

文化の向上・発展に貢献した功績をたたえ、お二方に甲南名誉博士の学位が授与されました。また、記念品として、同じく旧制高校出身者である長谷川三郎画伯の作品を焼き付けた絵皿が贈られました。



中西 香爾 先生  
テーマ「天然物化学の面白さ」  
プレバトキシ(赤潮毒)など、多数の天然有機化合物の構造を決定し、化学構造解明のための物理的な構造解析手法導入に貢献されてきた実績やデータを、80数枚にもわたるカラーのスライドを用いて、ご説明していただきました。構造決定された天然物は、蜘蛛、すずめばち、ごきぶり、えび、へび、銀杏の成分など多岐にわたります。

先生は現在、アルツハイマーの進行を止めたり、記憶力増進についての研究を進めておられますが、夢は、深海魚を調べることで人が暗闇でも見えるようになることだそうです。

## 岡田節人先生

テーマ「脱科学よもやま話」



少年期から青年期の大事な時期を甲南で過ごした岡田先生は、高等科に優秀な現役の生物学の先生方がおられ、生物学がおもしろいと思うようになられました。その後大学で、生物・生命のもつ現象の法則性に向かつて研究されました。また、高等科時代に身につけた教養は今でも役にたっているそうです。

生き物とは、しなやかに生きる生命そのもの。このしなやかさをサイエンスにすると嘘になってしまいます。科学とは、正と誤が決まっています。人に信頼されるもの。しかし、科学とは、あやふやなものがある嘘の多い学問で、実はこれがおもしろい。「科学」という言葉をもう一度作り直してほしいというお話をいただきました。

## 「第1回地域交流健康講座」開催



# 身体だけでなく、 心も元気に！ 甲南大学式フィットネステスト

8月23日(土)、甲南大学甲友会館にて、第1回「地域交流健康講座」を開催しました。この日は、あいにくの雨にもかかわらず、160名を超える多くの地域の方々が参加。甲南大学が考案した画期的な「甲南大学式フィットネステスト」も、みなさんに体験していただきました。



講座は3部構成で、第一部では「目的に応じた歩き方」、第二部では「脳の活性化」をテーマに講演。講師は、本学教員であり、スポーツ先端医学研究所長である曾我部晋哉講師が務めました。そして第三部で、いよいよお待ちかね、「甲南大学式フィットネステスト」をみなさんが体験。

このフィットネステストは、健康の維持・増進を目的に、小学生から高齢者まで同一項目で測定する生涯一貫型のフィットネステスト。最新の機器を使って、24項目のテストを組み合わせ、筋肉量や柔軟性など、多面的に身体の状態を測定します。この日は、参加者の方々に実際に9項目のテストを行っていただきました。このテストは、結果から自身の身体の状態を正確に把握し、腰痛や肩凝りなどトラブル改善のアドバイスまでを受けることができるのも大きな特徴です。当日は、測定技術者養成講座を受講して本テスト指導員の資格を取得した、甲南大生や地域のボランティアスタッフのみなさまにも測定をお手伝いいただきました。



左から、佐々木浩人さん(理工1年)、高丸純明さん(法1年)、丸井孝彰さん(法1年)、坪田由樹子さん(文1年)、光枝花苗さん(文1年)

健康に関する情報が溢れているにも関わらず、身体の根本的な仕組みや自分自身の身体について知る機会は少ないもの。正しい知識を持ち、科学的な指標のもとついで健康を増進させてほしいという想いから、このテストを開発しました。従来の体力テストと違い、「全世代対応」がキーワード。そのため、子どもから高齢者まで地域のコミュニティづくりに役立ててほしいです。また、今回ボランティアで参加した大学生にとっては、目上の方々と接することができる貴重な機会。人生の先輩方から、学べることも多いはずですよ。



スポーツ先端医学研究所長  
曾我部 晋哉 講師  
甲南大学式フィットネステストを開発。今夏の北京オリンピックで5つのメダルを獲得した全日本女子柔道オリンピック代表チームトレーニングコーチも務めている。

会場は終始和やかなムード。測定を受ける人と測定員のふれあいの場にも。



講座修了後は、ボランティアの皆さんの懇親会も開催された。

「身体を元気にする」一方で、このテストは、思いがけない効果も生み出しています。ひとつは、さまざまな世代の活発な交流の場となっていること。もうひとつは、ボランティアとして参加する本学の学生にとっても、精神的に成長できる場になっていること。また、高齢者の方に「いきがい」を与えるという価値も生まれているようです。一次はもと数値を良くしよう」と明確な目的意識が生まれるほか、最初は測定を受けるだけだった人がやがて測定員となり、地域貢献活動に積極的に参加されるようになった方もいます。身体だけでなく、心まで元気にできる。それが甲南大学式フィットネステストのなによりの効用と言えるのです。

測定員として参加！  
香榎園歩こう会 世話役代表 森 信孝さん

学生たちとともに研修を受けて測定員として参加しました。人々のお世話をすることは、人のためだけではなく、脳も活性化でき、自分も元気になるですよ。



測定員として参加！  
理工学部 1 年次生 佐々木 浩人さん

「自分の身体をより良くしていこう」という、地域のみなさんの気持ちがとても感じられました。近年若者の生活習慣病も多いそうなので、学生にももっと体験してほしいですね。



フィットネステストを体験！  
正田 日出夫さん

自分の身体の良い所も悪い所もわかる、いい機会になりました。また、若い方々と普段接することも少ないので、いい交流ができました。ぜひ、講座を継続してほしいですね。



フィットネステストを曾我部所長と共同開発！  
スポーツ先端医学研究所 客員研究員 伊藤 健司さん

健康をキーワードに、地域がつながり、新しいコミュニケーションが生まれています。学生のみんなも、若いうちから健康を管理する大切さを知ってほしいです。







## ミニサッカー大会

毎年大人気の恒例企画、親子でフットサル！  
豪華賞品もあり、大いに盛り上がりました。

9:30~16:00



## 甲南の歴史を振り返る写真展

たくさんの懐かしい写真を展示。  
タイムスリップ気分を味わって  
いただきました。

終日

## 模擬店・物産展

同窓会、OBが経営される企業・商店、甲南  
大生協のご協力を得て、物産・軽食等をお  
得な価格でご提供しました。



12:00~16:00



## お祭り広場

射的・バルーンアート・オリジナル  
のバッジやプレート作成コーナー  
など、学生による企画・運営コー  
ナー。子どもさんが大喜びする姿  
が印象的でした。

12:00~16:00



## 紙ひこうきをつくろう

プロが紙ひこうきの作り方を伝授。子ども  
さんはもちろん、大人の方も熱中されてい  
たようです。完成後は、グラウンドでテスト飛  
行！遠くまで飛びましたか？

13:00~16:00

## 花のかんむりをつくろう

こちらも、プロが編み方を伝授。驚くほ  
どきれいなかんむりができ、女の子たち  
はお姫様に変身！



13:00~16:00



## OB会

毎年恒例のクラブ・ゼミ・卒業生  
教職員OB会に加え、今年はEBA  
の同窓会も実施。懐かしいキャン  
パスで開く同窓会は格別ですね！

14:00~16:30



## 憩いの広場

茶華道料理部道心会がお茶とお菓  
子を振る舞い、癒しのひとときを過ご  
していただきました。

12:00~16:00



13:00~16:00

## 甲南大学式フィットネステスト体験 「生涯自分の足で歩こう！」

実施すること大好評をいただいているフィットネステスト。全24  
項目のなかから9項目をチョイスして体験していただきました。

13:00開場/13:30上映



## 映画「神様のパズル」 試写会

全国東映系映画館で6月に上映  
された作品をひと足先に公開。原  
作者の機本伸司氏がOBであるこ  
とから、特別企画として機本氏の  
トークショーも開催しました。

5/25 日 in 岡本キャンパス 協賛／甲南学園同窓会・甲南大学生活協同組合・岡本商店街振興組合

# オール甲南の集い Report

2008年5月25日(日)、甲南大学岡本キャンパスで「2008年度オール甲南の集い」が開催されました。当日は、朝からあいにくの雨でしたが、開催時間には小雨となり、次第に晴れに。今年は、さまざまな新しい趣向を取り入れ、昨年を大幅に上回る2,500名近い方にご参加いただきました。ご来場いただいたみなさま、学園と一緒に「2008年度オール甲南の集い」をつくり上げていただいた方々に深く感謝申し上げますとともに、当日の様様をレポートいたします。



## 12時からの開催に先がけ、 オープニングセレモニーを行いました

吹奏楽部による学園歌の演奏、チアリーディング部による  
パフォーマンス、ミズノ(株)水野正人会長による甲志会公開  
座談会の告知等、開催前から熱気に包まれました。



高阪学長のあいさつにより、いよいよ  
「2008年度オール甲南の集い」幕開け



14:30~16:30

## 全国甲南会

各地甲南会が集結。真剣  
に審議をした後は、和気あ  
いあいと懇親会。



12:00~12:50

## 世界一受けたくなる甲南大学の授業 田中教授の「花と緑のふしぎ」

このオープニングプログラムには、予想を上回る500名以上の方が詰めかけ、  
モニター会場も開放するほど。テレビ・ラジオの番組にも多数出演している田  
中修教授の講演は、その絶妙な語り口と植物の美しい映像で聴衆をぐいぐい  
と惹きつけ、大好評でした。教壇の上には何百ものきれいなミニブーケ(花束)  
を並べ、講演後はおみやげとして来場者にお持ち帰りいただきました。



13:00~14:20

## 甲志会主催公開座談会

## 「今、求められるリーダーシップとは？ ～甲南創立者 平生に学ぶ～」

OBであり実業界で活躍されているミズノ(株)会長水野正人氏と(株)ワーク  
アカデミー社長大石博雄氏、OBに絶大なファンを持つ衣笠元学長、高  
阪学長という超豪華メンバーによる座談会を開催。混沌とした現代社  
会で生きていく我々にとって、大いにヒントとなるお話が聴けました。



14:00~16:30

## コンサート「オール甲南夢舞台」

現役学生の課外活動団体によるパフォーマンス、プロのアーティストROOTS  
による貴志康一楽曲の演奏、Asa festoon(OG岡田麻さん)によるラテン  
ミュージック等バリエーション豊かな内容で、聴衆はときに盛り上がり、ときに静  
かに聴き入りました。

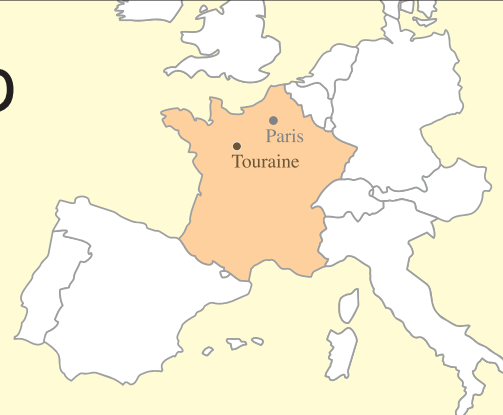
このほか、甲南×ユニテッドアローズによるエコバッグプレゼント、豪華  
賞品が当たるスタンプラリー、ペンギンさんとアヒルさんのぬいぐるみによ  
るお子さまへの風船プレゼント等を実施、甲南から普段お世話になっ  
ているみなさまへ感謝の気持ちをささやかながらお返しする一日でした。

## 来年度は、2009年5月24日に開催予定

詳しいご案内は、追って「甲南Today」に掲載いたします。卒業生・学生・ご父母の方々だけでなく、  
どなたでもご参加いただけますので、ご家族、お友達をお誘いあわせのうえ、足をお運びください。







山本文政君と  
吉沢理事長



### 【本人コメント】

このたびの受賞は、フランス甲南学園トゥレーヌと甲南大学で学んだことによって、自分の世界を大きく広げることができた結果であり、そして何より、周りで自分を支え、励ましてくれた人たちのお陰であると感じています。

この奨学金は、計画中の中国・北京大学への留学に生かす予定であり、この受賞を糧に、一層研鑽を積み、世界に通用する甲南人として邁進したいと考えています。



西方先生の説明を受ける生徒たち

授業では実感で  
きない「生命の神  
秘」に触れる貴  
重な機会になり  
ました。



大役を果たしリラックスして記念撮影

「今の環境を存分に活かしてほしい。他人と比較するのはなく、自分を確かめながら一歩一歩成長していくことが大切」というメッセージを頂戴しました。

本校の卒業生で甲南大学4年次の山本文政君が甲南90周年栄誉スカラシップのひとつであるトゥレーヌ・コミュニケーション教育栄誉奨学金を受賞しました。山本君は、本校在学中、英語スピーチコンテストでの優勝や生徒会活動に貢献したほか、協定校であるイギリスの名門ダリッチ校への留学を経験。ダリッチ校では、日本語クラブの創設や本校和太鼓部を招いての演奏会を開催するなど、日本文化に理解を深めてもらうための積極的な活動が評価され、同校から日本人初となる「ハーフカラー賞」を受賞しました。

### ト ウレーヌ・コミュニケーション 栄誉奨学金受賞

### F IBER特別実験に 本校生が参加

甲南大学先端生命工学研究所（FIBER）の協力を得て、本校生を対象とした特別実験が7月31日に開催されました。理系の進学を希望している5名の本校生徒が参加し、特別に用意されたプログラムにより、最先端の設備を使用した本格的な実験を体験しました。同研究所の西方先生、甲元先生の丁寧な指導のもと、エビの解剖や生レバーを使ったDNA抽出などの実験に取り組み、日頃の授業では実感できない「生命の神秘」に触れる貴重な機会になりました。

### 【参加生徒コメント】

大学レベルの実験に、参加者5名全員がとても興奮しました。特に、身近な素材を使って見事な技術で行うDNA抽出実験や、エビの解剖から人間の祖先にまで遡ることができるといった壮大なお話を伺えたことは、たいへん印象に残っています。とても楽しく有意義な経験ができ、ご指導いただいた先生方に感謝しています。



色素合成実験に  
取り組む生徒

### フ オントヴロー・アニメ祭に 本校和太鼓部が出演

7月8日、本校から1時間ほどの場所にあるフオン・トヴローでアニメ祭が開催されました。フオン・トヴローは、フランスを代表する修道院のひとつで、その建物もロマネスク建築の傑作として有名です。また、これまでも国内外の著名な音楽家のコンサートを数多く開催するなど、芸術紹介に力を入れていることでも知られています。今回はこの修道院でスタジオジブリ作品を扱ったアニメ祭が催され、本校和太鼓部が招待を受けて参加しました。『風の谷のナウシカ』のプロデューサーや『火垂るの墓』の監督・脚本を手掛けたことでも有名な高畑勲さんをはじめ、女優のジャニン・モローさんや前大統領候補のジゴレーヌ・ロワイヤルさんらが出席され、名だたる方々の前で本校和太鼓部が演奏を披露、たいへん栄誉ある機会に生徒たちも感激していました。



和太鼓が響き渡ったフランス式中庭

## 数多くの体育系クラブが、 全国大会へ出場。

平生飢三郎が掲げた教育理念「徳育・体育・知育」。甲南高等学校・中学校では、スポーツを通して人間性を育む人間教育を大切にしています。クラブ活動も、そのひとつ。今年も、体育系クラブから全国大会で優秀な成績をおさめる生徒が数多く輩出しています。

### メンバーがひとつに なれたのが印象的。

部長としてチームをまとめ、「勝利」に向かってひとつになれたのが印象的です。このテニス部で養ったリーダーシップを、高校に進学してからも役立たせたいと思います。

テニス部  
全国中学テニス選手権、  
団体3位入賞  
甲南中学校3年生  
岩本 拓馬

### 日頃の練習の大切さを実感。

全国にはたくさんの強いプレーヤーがいることを知りました。来年こそ、めざすは全国大会入賞！そのために普段の練習を大切にして、もっと強くなりたいと思います。

弓道部  
県総体を優勝し、全国大会へ  
甲南中学校2年生 竹内 智毅

### 高校最後の大会で、全国へ。

高校1年から挑戦を続け、ようやく全国大会へ出場できました。ティーショットでは緊張しましたが、自分のゴルフをするように集中し、楽しみながらプレイができました。

ゴルフ部  
2008年度日本ジュニアゴルフ選手権競技、出場  
甲南高等学校3年生 安藤 啓介



### 自分に勝つことで、さらに上へ。

県総体3連覇、インターハイ初出場を達成できたのも、「己に勝つ」精神で練習に取り組んでこられたからだと思います。この精神を忘れず、さらに上をめざして頑張ります。

水泳部  
県総体を3連覇。インターハイに初出場  
甲南高等学校3年生 平谷 源

### 甲南 中学校

### 大会を通じて 課題も明確に。

全国レベルの選手とのプレイを通じて、僕自身の課題も明確になりました。苦手なアプローチをもっと練習して、1ホールずつ確実にパーで終了できるようにになりたいです。

ゴルフ部  
全国中学校ゴルフ  
選手権大会、初出場  
甲南中学校3年生  
船戸 一輝

### もっと練習をして、 次こそは優勝を。

全国には馬を上手に扱う選手がたくさんいて驚きました。インターハイ後、「もっと頑張らないといけない」とやる気が一層湧いてきています。来年こそは、優勝をめざします。

馬術部  
6年ぶり、インターハイ出場  
甲南高等学校2年生  
長谷川 皓大

### 世界レベルの選手に刺激を受けた。

北京オリンピック出場選手のプレイを間近で見られたり、他校の選手とも交流を深められたりと、インターハイだからこそ刺激になる経験が数多くできました。

アーチェリー部  
インターハイ、全日本選手権大会出場  
甲南高等学校2年生 森本 紘文

### チームの勝利を願い、 エールで参戦。

ケガで試合に出場できなくて悔しい思いもありましたが、チームの勝利のためにベンチから声援で参加。ベスト16に進出できて本当にうれしかったです。

ホッケー部  
インターハイ、ベスト16進出  
甲南高等学校2年生 須賀 義人

### 甲南 高等学校





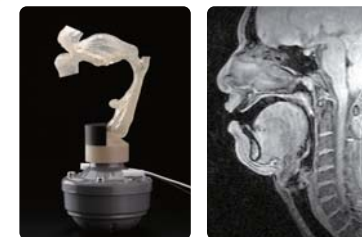
先生、  
知の最前線を  
教えてください

# なるほど！ 甲南 アカデミア

「音声・音響情報処理」

## ものまね タレントの声は、 なぜ本人そっくりに 聞こえるのか？

人間の顔が十人十色のように、人間の声も十人十色。でも、なぜ、一人ひとり声が違うにも関わらず、ものまねタレントは人間の声をそっくりまねることができるのでしょうか？そして、なぜ本人そっくりに聞こえるのでしょうか？一人ひとりが個性を持つ人間の声を探り、その声をコンピュータで再現することをめざして日夜研究に取り組む、知能情報学部北村達也准教授がその謎をお話しします。



北村准教授は、研究法も実にユニーク。MRIを使って発話するときの口の形を撮影して(写真右)立体模型(写真左)をつくる。左写真下部のスピーカーから声帯音源を出せば、MRI撮影をした本人の声が再現できる。  
この模型は先生がATR(京都)在籍時につくったもの。



一人ひとり声違って、はじめて会った人でさえ、声を聞き取ることができて会話が成立する。これは、一見簡単なことのように思えますが、実は人間の高度な情報処理能力があるからこそできるもの。

### research 1

## 一人ひとりの声の個性は なぜ生まれるのか？

私の研究は、「一人ひとりの声の違いや特徴がどうやって生まれるのか」を探ること。これは、人によって口と喉と鼻の形が違うことから生じる、声道(声の通り道)の形の違いが大きく影響しています。そこで、病院の診断で使われるMRIを使い、声道の形を撮影して立体模型を作成することで、声の発生メカニズムやその人の声の特徴を分析しているのです。この研究法は、世界にほとんど例がなく、いつも海外の研究者に驚かれます。そして、私がもうひとつ注目しているのが、ものまねタレント。一人ひとり違う声を、ものまねタレントは、そっくりまねることができます。「口や喉のどの部分を、どう動かして似せているのか」、「声のどこが似ているとそっくりに聞こえるのか」、これがわかれば、私の研究である「一人ひとりの声の個性はなぜ生まれるのか」を解明する大きな手がかりになるのです。

### research 2

## 必読!人の声をものまねする そのポイントとは？

先日私が出演したテレビ番組で、ものまねタレント・コーギー富田さんが落語家・桂歌丸師匠のものまねをした音声データを分析しました。その科学的な声紋分析からわかったのは、こんなところまで似せられるのかと驚くほど「声の音色」をまねていたことです。「声の音色」とは、同じ「ド」の音でもピアノかギターかバイオリンかを決める、音の成分のようなもの。コーギーさんは口と喉の形を変えて、歌丸師匠の声にぴったりの音色を探り当てていました。さらに、声帯部分を巧みに使って、「しゃがれた声」「甲高い声」といった、聞く人の頭の中にある歌丸師匠の声のイメージを忠実に再現し、声の高低や抑揚もうまく似せていたのです。100%同じ声をつくりだすことは不可能ですが、コーギーさんのようにポイントさえおさえれば似ているように聞こえるのも面白いところ。このノウハウを深めれば、生身の人間のような声をつくり出す音声合成技術への活用も夢ではありません。



### research 3

## 人間の声の研究は、 家庭に医療に幅広く活かされる？

私の研究で、最終的にめざしているのは、映画やゲームに使われるCG(コンピュータグラフィック)技術のようなもの。何もないところからイメージにあわせた声をつくり、人間さながらの声を生み出す音声合成システムをつくりたいのです。実現すれば、将来家庭内にロボットが普及しても、あの無味乾燥なロボットボイスではなく、限りなく人に近い声がコミュニケーションを豊かにするでしょう。また、医療・福祉分野への応用も期待できます。例えば、舌ガンで声を失った人の声を、手術前に録っておいた声から再現することもできるのです。2008年甲南大学に知能情報学部が誕生しましたが、私の研究も含めて、「人間への理解」がこれからの情報社会を担うキーワードとなるでしょう。この学部には、人間の運動時の誤作動を科学的に追究することで事故を防止する運転支援システムを開発する研究室をはじめ、人間と情報技術をつなげ、社会や生活を豊かにできる可能性にあふれています。そして、個人的には、私の研究を通して、「元来人間の声はこんなに一人ひとり違いながらも、人間は理解し合っているんだ」という事実をもっと多くの人々に伝えていきたい。そうすれば、世の中のさまざまな紛争や対立は乗り越えられることも多いのではないかと思います。

### 知能情報学部 北村 達也 准教授

1997年、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。博士(情報科学)。2007年甲南大学理工学部情報システム工学科へ、2008年より現職。  
研究室のホームページ <http://basil.is.konan-u.ac.jp/>

### 北村先生の オススメ図書

『音のなんでも小事典』は、入門書としてオススメです。『解体新ショー』は、人体のさまざまな謎を解き明かす、みなさんご存知のバラエティ番組。北村准教授が出演し、ものまねタレントの音声分析を行った内容も掲載されています。



▲音のなんでも小事典  
日本音響学会編



▲解体新ショー  
NHK「解体新ショー」プロジェクト編





日本初のノーベル賞を受賞した  
湯川秀樹氏も甲南で講演会を  
開催している。(写真右が湯川秀  
樹氏、左は荒勝文策初代学長)

# 現代講座は、 学生たちが 企画しているって 本当ですか？

「現代講座」は、  
今〴〵面白い話を聞けるとあって、  
学内だけでなく、  
地域の人々まで詰めかける  
毎回満員御礼の人気イベント。  
ところで、この「現代講座」、  
実は学生が企画しているという  
噂を聞いたが、本当なのか？  
その真相について、  
今回われわれ特搜部が  
調査してきました。



舞の海秀平氏

”  
そのはじめりは、旧制甲南高校時代。  
各分野の最先端、「本物」に触れる機会。  
“

「現代講座」は、研究者、スポーツ選手、文化人など、各界で活躍する人をキャンパスにお招きし、自らのサクセスストーリーや業界の実情を語っていただく講演会。本題に入る前に、まずはこの「現代講座」の起源についてお話ししましょう。そもそものはじまりは、とても古く、旧制甲南高等学校時代にまで遡ります。

甲南学園の創立者平生汎三郎が掲げた教育方針「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」ためには、授業だけでなく、学術・スポーツ・文化などあらゆる分野の最先端、つまり「本物」に触れる機会が必要であるという考えのもと、多くの文化人や研究者、スポーツ選手などが招聘されました。その顔ぶれは、じつに豪華。例えば、柔道の創始者であり、柔道を世界的なスポーツに広める礎を築いた嘉納治五郎氏、日本人として初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹氏、日本の近代哲学・宗教哲学研究者である西谷啓治氏など、各界の著名な方々が来校されました。

その「本物に触れる機会」が受け継がれ、甲南大学になってからは毎年大挙の学術祭で講演会が開催されるようになり、その後70年(昭和46年)から現在の「現代講座」となりました。記念すべき第1回目の講師は、日



本を代表する哲学者、梅原猛氏。あるOGの方が、現代講座がスタートした当時の貴重な思い出をこう語ってくださいました。「毎回錚々たる方がいらつしやり、本当に楽しみな企画でした。驚いたのは、74年(昭和49年)に講演されたソニー創業者盛田昭夫さん。自家用飛行機で来校され、そのスケールの大きな生き方に圧倒されました」。こうして過去から現在において、現代講座は、本学生はもちろん、地域の方々にも、社会と人間のあり方を考える絶好の機会になっているのです。



石原良純氏

”  
現代講座は、「主体性」も培う場。  
学生が、そのすべてを行う。  
“

ここで、「現代講座は、学生たちが企画しているのか？」の本題に戻りましょう。「現代講座」は、学生たちの主体性を養うことにも重点が置かれており、年に3回開催されるイベントは、企画はもちろん、講演テーマの決定から著名人への依頼、講演会までの情報宣伝活動、そして当日の運営まで、そのすべてを学生たちが行います。「講師への依頼をはじめ、情報宣伝活動ではポスターを駅前に貼ったり、新聞の挟み込み広告にチラシを入れたり、この活動を通じて社会と関わる機会が数多くあります」と自

治会現代講座実施委員会の元委員長溝尻毅さん(経済3年)は言います。現委員長京都藤真莉絵さん(法2年)は「大学の代表として社会と関わるなんて初めての経験なので、戸惑うことはあり。でも、本当に学生だけでやらないといけないので、メンバー一人ひとりに責任感が芽生えているのがわかります」と、活動を通して自主性が培われ、自己成長できると語ってくれました。

第146回  
現代講座開催  
10月4日(土)  
元プロ野球選手  
金村義明氏 来校!  
テーマ「我が野球人生」

「スタート」13時30分  
「会場」甲南大学  
142講義室  
入場無料

※会場の都合により、入場は先着450名様とさせていただきます。モニター座はございませんのであらかじめご了承ください。

## これまでの現代講座 (一部抜粋・敬称略)

| 講師      | タイトル                          | 開催日        |
|---------|-------------------------------|------------|
| 梅原 猛    | 隠された十字架<br>—聖徳太子と法隆寺—         | 1971. 6.16 |
| 梅棹 忠夫   | 現代に生きる                        | 1971. 6.19 |
| 陳舜 臣    | 歴史のかけ橋<br>—日本と中国—             | 1972. 6.17 |
| 西谷 啓治   | 現代人と宗教                        | 1972.11.11 |
| 小松 左京   | 未来を語る                         | 1973.11.10 |
| 盛田 昭夫   | 日本経済の進路                       | 1974. 5.11 |
| 佐治 敬三   | 挑戦                            | 1976.11.27 |
| 朝比 奈隆   | 私の信条・人生観                      | 1978.10.21 |
| 岡本 太郎   | 私の人生観                         | 1979.11.22 |
| 筑紫 哲也   | 守ってあげたい私の日本<br>—今、考えよう防衛問題—   | 1982. 1.21 |
| 桂 三枝    | 起承転結<br>—ぼくの歩んできた道—           | 1982.11.18 |
| 河合 隼雄   | 始めませんか?<br>ゆとり的人生構想           | 1992.12.14 |
| 辻 井 喬   | 新しい時代の経済と文化<br>—時代はどこへ行くのか—   | 1995. 5.26 |
| ドクター・中松 | 独創力の秘密<br>画期的なアイデアはどこから生まれるのか | 1997. 5.20 |
| 掛布 雅之   | 我がプロ野球人生                      | 1998.11.12 |
| 戸田 奈津子  | ことばの交差点に生きる                   | 2000. 5.13 |
| 浅田 次郎   | 小説とは何か                        | 2001.11.23 |
| 堤 幸彦    | 堤幸彦の世界<br>—アンチ常識論—            | 2004. 1.10 |
| 石原 良純   | これが私の生きる道                     | 2005. 5.21 |
| 畑 正憲    | 命に恋して                         | 2007. 9.29 |



2009年4月「マネジメント創造学部」と「フロンティアサイエンス学部」が誕生。

# 学部長が語る、新しい学びの可能性。



ポートアイランドキャンパス完成予想図

FIRST 神戸

## フロンティアサイエンス学部

生命化学科

ポートアイランド  
キャンパスで、  
次世代科学の鍵を握る  
ナノバイオテクノロジーを研究。



杉本 直己

フロンティアサイエンス学部長(就任予定)  
先端生命工学研究所(FIBER)所長  
理工学部教授

社会に触れる機会を増やし、  
広い視野を持つ研究者を育成。

フロンティアサイエンス学部(愛称 FIRST)では、甲南大学の研究機関・先端生命工学研究所(愛称 FIBER)と連携し、バイオテクノロジーとナノテクノロジーを融合した新しい学問である「ナノバイオ」を学習。あらゆる最先端技術に応用できる基礎研究に取り組みます。学部のキーワードは、「生命を、化学する」「生命で、化学する」「生命を、化学する」とは、生命を化学の力で解明すること。その研究成果は、医療、薬品、食品、化粧品など健康関連に応用されます。「生命で、化学する」とは、新材料や新素材などの開発に、生命系の研究成果を応用すること。FIRSTはこの2つを柱に研究を行います。

BERに滞在する世界トップレベルの研究者による講演や研究指導などの機会も提供していきます。

キャンパスのメリットを活かし、  
「生命化学の研究拠点」をめざす。

FIRSTのキャンパスが建設されるポートアイランドは、フロンティアサイエンスの研究に非常に適した環境です。神戸市は「医療産業都市構想」の実現に取り組んでおり、ポートアイランドにはバイオ関連企業や理化学研究所の施設が集積。キャンパスができるのは、理化学研究所のスーパーコンピュータ施設建設予定地のすぐ隣です。また、兵庫県も「健康」をキーワードに掲げており、今後、バイオやセンシングの研究で一大拠点になる可能性を秘めています。加えて、兵庫県および神戸市は、新興経済大国「BRICS」との交流も盛んです。FIBERにも、中国やインドのトップレベルの研究者が滞在しています。FIRSTでは、こうしたキャンパスの特性を活かし、企業や研究機関などとの連携を進め、「生命化学の研究拠点」をめざします。

「フロンティアサイエンス

### 甲南大学文化講演会のお知らせ

「DNAワールド」  
ナノバイオが変える未来生活

【日時】2008年11月16日(日)  
14時30分(開場14時)

【会場】松山全日空ホテル3階  
「ルビールーム」

※入場無料・先着順/どなたでも入場できます。

OB講師予定(一覧(抜粋))

● 象印マホービン(株)代表取締役社長 市川典男氏  
● 神戸新聞社代表取締役会長 稲垣嗣夫氏  
● UCC上島珈琲(株)代表取締役会長 長瀬社長・グループCEO 上島達司氏  
● ミノ(株)代表取締役会長 水野正人氏  
● ミツヘルト(株)代表取締役会長 西河紀男氏

の甲南」と言われるように、私たちは全力を尽くして参ります。みなさま方のご期待とご支援をお寄せください。

### フロンティアサイエンス学部

学生が将来像を明確にイメージできるように、業界の第一線で活躍される方々を招き、研究やビジネスの生の声を伺います。



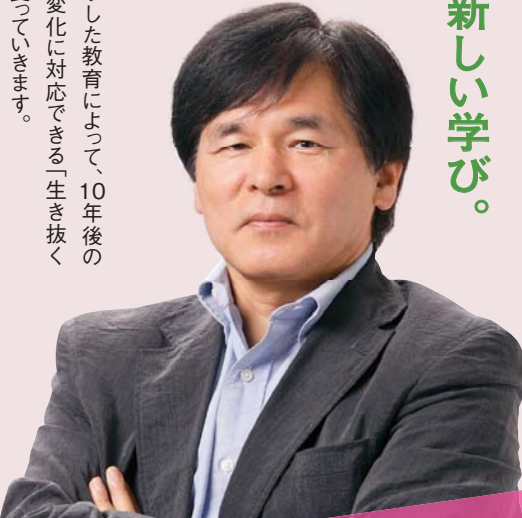
甲南 CUBE 西宮キャンパス完成予想図

CUBE 西宮

## マネジメント創造学部

マネジメント創造学科

経済と経営を融合した新しい学び。  
既存の大学教育の  
枠を越え、甲南に  
「新しい風」を吹き込む。



佐藤 治正

マネジメント創造学部長(就任予定)  
経済学部教授

プロジェクト中心の教育で、  
「社会で生き抜く力」を養成。

学生も教員も、CUBEという  
「家」に集うファミリーの一員。

マネジメント創造学部(愛称 CUBE)は、経済と経営を融合した新しい学部です。CUBEのミッションは、従来の大学教育の枠にとられない学びを提供し、甲南大学に「新しい風」を吹き込むこと。学生が成長できる学部「大学の未来の発展を担う学部」「地域社会に貢献する学部」の3つを教育コンセプトに、その実現に全力を傾けて参ります。

CUBEの特徴は、少人数のチームで取り組むプロジェクトを中心としたワークショップ型の教育スタイル。受け身で授業を聞くのではなく、プロジェクトに参加することで、「自ら考える力」を養います。また、学生のモチベーション向上を重視。海外の大学院で学位を取得した教員が半数以上で、豊かな人生経験を活かして学生の好奇心に火をつけます。今後は海外でインターンシップやボランティアなどに参加できる制度を充実し、学生が社会を経験する機会も増やします。

現在、西宮北口駅の南側にCUBEの拠点となる新キャンパスを建設中です。このキャンパスは、「未来の大学」「ノートパソコンや携帯電話を講義やキャンパスライフに活用できる設備を整えます。教員の研究室は、学生にオープンな場に。室内は研究スペースを小さく、応接間を広く設計。壁は外から見えるガラス張りにし、先生同士が議論する姿が日常の光景になる刺激的な環境にしていきます。

また、西宮キャンパスはCUBEの学生だけが学ぶ、小規模のキャンパス。ここに集まる学生たちは、家族のようなもの。夜遅くまで議論する学生たちや教員もつき合うなど、活気にあふれたアットホームなキャンパスになって欲しい。学生と教員が、CUBEという「家」に集まるファミリーのような関係を築いていきたいと考えています。

当日は、佐藤教授がCUBEプロジェクトのコンセプトや授業・カリキュラム構成を解説。大学教育改革の未来についてお話しします。

### 甲南大学文化講演会のお知らせ

【日時】2008年10月12日(日)  
14時30分(開場14時)

【会場】ホテル名古屋  
ガーデンパレス3階「楽」

※入場無料・先着順/どなたでも入場できます。



第一線で活躍する卒業生に、ご自身の生き方についておうちがいきるこのコーナー。今回は、世界をフィールドに活躍するジャーナリスト仲野博文さんにインタビューします。

多くの仲間と出会い、人から多くのことを学んだ甲南時代。だから、今の自分がある。

ジャーナリスト  
仲野 博文氏

1999年甲南大学文学部社会学科卒業



## Hirofumi Nakano

1999年甲南大学文学部社会学科卒業。  
米エマーソン大学大学院コミュニケーション学部ジャーナリズム学科卒業。  
2000年からボストンのFM局WERSにてニュースエディターを務めたのち、ワシントンD.C.に拠点を移し、日本テレビワシントン支局プロデューサーに。  
2003年よりフリージャーナリストとして活動。

### 9・11以降のアメリカでの貴重なジャーナリスト経験。

2001年9月11日の同時多発テロの後、アメリカでジャーナリストとしての本格的な第一歩を踏み出しました。9・11の日のことは、今でも鮮明に覚えています。当時私はボストンで大学院の修士論文執筆に追われていた頃。その日、「マイケル・ジョーダンが現役復帰」というトップニュースで朝を迎えるなか、第一報が伝えられたのです。やがてボストンの空港はFBIや軍によって封鎖され、学校に行けば学生たちの泣き叫ぶ姿があり、街中がパニック状態。テロがおこったニューヨークでも、ワシントンでもないのに、軍の命令なのか、その夜ボストンは消灯を義務づけられ、真つ暗な街のなかヘリコプターが旋回していました。その後、アメリカは、テロ防止の名のもと愛国者法が制定され、イラク・アフガン戦争へと、確実に軍事色が強めていきます。僕にとつては、この夜の光景こそが、9・11以降変わって行くアメリカの象徴であり、

日本テレビ時代は、ホワイトハウスや国務省の定例記者会見にも出席。北朝鮮拉致被害者問題でラムズフェルド国防長官から、元米兵ジェンキンス氏の処遇についてコメントも取った。



り、ジャーナリストとしてこの時代のアメリカを経験できたことは、非常に大きな意味があったと思います。

アメリカでフリージャーナリストとして活動するなか、私が精力的に取材を行ったテーマのひとつが2005年アメリカ南部の街を襲ったハリケーン「カトリナ」の復興問題。災害から1年後に現地に足を踏み入れたとき、街の現状にショックを受けました。白人居住エリアは被災から1カ月後に復興したにも関わらず、災害保険にも加入できない貧困層が住むエリアは家の建て直しも行えず、未だゴーストタウン状態。さらに、1年経つても救急車やパトカーがまだ遺体を探しているという惨状だったのです。被災地は今のアメリカの縮図であり、格差社会を物語っていたのが衝撃的でした。



ハリケーン取材中、ニューオーリンズで偶然出会ったR&Bミュージシャンのファッツ・ドミノ氏と。

### 甲南大学で学んだ、いろんなモノの見方や考え方。

ジャーナリストになるうえで、実践力を深めたのはアメリカの大学院での学びですが、そのベースになる考え方や価値観を教えてくれたのは、小学校から大学にわたる甲南での16年間の生活。特に、大学での4年間で、まず、現在の仕事に興味を抱いたきっかけが、文学部の授業「ジャーナリ

ズム論」。講義では、毎回新しい刺激と発見があり、風邪をひいても熱が出ても出席するほどでした。

クラブ活動は、KSWLの放送部門に入学。今だから正直に言うと、実はテニスサークルと思ってて(笑)。気づいたときには先輩からいろいろとごちそうになってしまった後で、入学しないわけにいかなくなっていました。

しかし、KSWLに入ったのは大正解でした。アナウンサー部門で、お昼の校内放送や学園祭のステージで司会を務めるなか、ここでも今につながる出来事がありました。ある日、オーストラリアからの交換留学生アンソニーがKSWLに外国人として異例の入学を果たすことに。通常留学生は入学できないルールがあったのですが、先輩が特例として認めてくれたのです。私は、アンソニーと2人でコンビを組み、ニュース番組を企画。どういった時事ネタを取り上げるかを2人で考え、四六時中話し合うなか、異なる慣習や価値観を持つ彼から、いろんなモノの見方や考え方があるという面白さ、ジャーナリズムの原点のようなものを教えてもらったんです。クラブでのこの経験は、今の仕事にも間違いなく生きています。

また、KSWLの仲間、現在音楽業界で活躍していたり、ポータルサイトExciteのコンテンツ企画をしていたり、劇団四季の舞台監督になっていた仲間もいます。自分がフリージャーナリストでやろうと決心したとき全く躊躇しなかったのは、個性的に柔軟に生きる甲南時代の仲間がいたからこそ。そう思うと、甲南に行つてなかったら、現在の私はなかったんだろうなと思います。

仲野さんは、政治問題を中心に、経済、カルチャー、スポーツと幅広い分野にわたり、多数メディアで活躍中です。

知る人ぞ知る?ラジオで流れる甲南大学のCMで、優しき力強いナレーションをしてくださっているのは、何を隠そう仲野さんなのです。

### JAM THE WORLD

若い人たちにものと世のこの出来事に関心を持ってほしい。そんなコンセプトから生まれた、ニュースを伝える異色のFM番組、東京J-WAVE「ジャム・ザ・ワールド」。その木曜ナビゲーターとして、世界中のニュースに深く鋭くメスを入れて伝えている。



「ジャム・ザ・ワールド」ホームページ  
<http://www.j-wave.co.jp/original/jamtheworld/>

### East Coast Baseball Freaks



「イーストコースト・ベースボール・フリークス」ホームページ  
<http://japaneseballplayers.com/podcast>

### 卒業後にも感じる、

### 甲南人の素晴らしさ。

甲南とのつながりは、一生大切にしていきたい宝物ですね。先日、東京甲南会(東京で開催される甲南OB会)に行ってきました。ミズノの水野正人会長をはじめ、企業のトップの方から、就職活動で東京に来ていた現役甲南生まで200名以上が参加していましたね。そこで、ちょっと感動的な光景を目にしたのです。私たちにすれば先輩にあたる年齢の方々が、現役生や若手OBも場に馴染めるよう、気を配っていたらいいなと思いました。見習わなければならないと思います。甲南会では、年齢や肩書きなど関係なく、「甲南」というつながりだけで意気投合できる。あらためて、甲南ファミリーの素晴らしさを感じたひとときでした。

今考えると「卒業後、アメリカに行つてジャーナリストをめざす」といった将来を夢見ることができたのも、甲南特有の自由な校風があったからこそ。また、甲南では、誰かと競うとき相手の足を引っ張るのではなく、共に成長しようとする、人と人とのつきあい方を学べた気がします。私の経験から思うに、人との出会い、人とのつながりは、沢山のチャンスをもたらしてくれるもの。現役の甲南生の方も、こうした人間関係を大切に、自らの興味あることを覗いてほしいですね。

現在私は、FMラジオで、「ジャム・ザ・ワールド」のナビゲーターを担当していますが、多くの人々が関わってひとつの番組をつくるなか、気持ちは今でも甲南大学でのクラブ活動の延長線のようなものです。



# 歴史文化

をつくった人々

## 甲南と芸能界

零星的には結び付きませんが、昭和30〜40年頃、その芸能界で一世を風靡した方がおられます。このコーナー5回目は、そんなお二人の紹介です。《芸能界で注目された》と言っても、近年お目にかかるような、芸人さんではありません。確かに甲南で学んだ人々の中では《異色の存在》ではありますが、しっかりとした信念を抱き、研究・研鑽を続け、基礎を固めた方々なのです。

木演出家・映画監督・演劇評論家  
たけち てつじ

## 武智鐵二氏

大正元年12月10日生まれ。  
昭和7年甲南高等学校(第7回)文科卒。  
昭和63年没。



古典芸能を愛し、『武智歌舞伎』や映画『白日夢』『黒い雪』などを演出、社会に反響を呼びました。昭和40年前後のこと。「武智鐵二全集」によると「演劇に興味を高めてくれたのは、甲南時代の英語教師でクラス担任の香西 精先生。能の研究もされており、昼食の食堂でいつも芝居の話をしてくださったから」。同級生による

とずば抜けた古典芸能通で、いつも浄瑠璃らしい語りを口ずさんでいたそうです。

京大卒後の昭和11年に個人雑誌『劇評』を創刊、能狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎の評論活動を開始。戦後は中村扇雀らを起用した世に言う『武智歌舞伎』を演出、永年の持論を舞台で実践、歌舞伎の革命児として注目を集め、この舞台から市川雷蔵らのスターが生まれました。また監督をした映画『白日夢』は一千万人を超す観客を集め、『黒い雪』は、わいせつ裁判のはしりでしたが、無罪判決が出ました。

文楽ではその「風」(演出意図)歌舞伎ではその「根性」や芸の「イキ」(呼吸)を深く研究したほか、そこにマルクスやフロイドの思想を導入して、独特の演劇理論を展開、能楽師と新劇俳優を共演させ、古典と現代のジャンルを乗り越える大きな力にするなど、「今日に至るも深い影響力を持つ」と言われています。

木ドラマ事件記者)俳優・演出家  
ながい ともお

## 永井智雄氏

(本名・飯沼修)大正3年6月14日生まれ。  
昭和9年1月甲南高等学校(第9回)文科中退。  
平成3年没。



事件記者になる」と憧れたほど。電話の受話器を首を曲げて肩で支える姿が特徴で、今もオフィスで見かけるこのポーズは、この時の真似が続いているのです。

東京生まれで麻布中学校卒業後甲南高校へ。軍国主義台頭の時期で、校内の非合法グループに加わったため、甲南の校史に残る「白亜城事件」の時、共産主義系の学生新聞発行など治安維持法違反で生徒8人が検挙された出来事。平生校長の懇請で無処罰。永井氏自身は地下に潜って自主退学扱いになりました。当時からペンネームは永井智雄。

高等科3年生の1月の中退ですが、同窓生扱いにしたい人です。昭和33年から8年間、NHKテレビドラマ「事件記者の相沢キャップ役」で好演してお茶の間の人気を集めたことは、当時の大きな話題でした。ストーリーは警視庁の記者クラブなどが舞台。「相さん」のほか「山さん」「荒さん」「ガンさん」がいて、当時の小学生は「将来

《演劇人》にもう一人

## 夏目俊二氏

なつめ しゅんじ

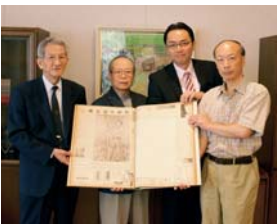
(本名・上田嘉則、昭和22年(第22回)文科卒)がおられます。活動は関西が主で、一時はテレビや映画で個性的な役を見せた俳優です。大学生の昭和

今回も、浜田邦夫さん(1953年甲南高等学校、1957年甲南大学経済学部卒)の協力を得ました

## 貴重な「甲南大学新聞」のバックナンバーが新聞部OB会より寄贈されました

7月19日、新聞部OB会より「甲南大学新聞」のバックナンバーが寄贈されました。

当大学新聞は、現在ほとんど残存しておらず、非常に貴重な大学資料として、学園史資料室に保管させていただきますこととなりました。



右から  
江口実様、葉袋広報部長、直原興二様、  
片岡副理事長

## 法学部講演会が開催されました

法学部は6月10日、甲友会館、813講義室において、法学部学生を対象に、講師として後藤啓二弁護士を招き、法学部講演会(演題:「法学を学ぶ意味―社会の責任ある一員として」)を開催しました。

講演会には約900人の学生が参加、法学を学ぶ学生としての心構えを確認しました。

## FIBERが松下電器と共同で、DNA配列から個人の体質を低コストで電氣的に識別する技術を開発しました

先端生命工学研究所所長杉本直己教授(理工学部)と松下電器産業株式

## セレッソ大阪の試合に、「神戸コスモFC」のみなさんをご招待しました

甲南大学は、セレッソ大阪のオフィシャルスポンサーとして、同チームの試合活動はもちろん、ジュニア育成を通じて社会貢献活動を応援しています。その一貫として、8月30日、神戸市東灘区で活動するサッカーチーム「神戸コスモFC」を、大阪長居スタジアムでのサッカー観戦にご招待しました。この日の対戦は、「セレッソ大阪対徳島ヴォルテス」。コスモFCのみなさんやそのご家族など、参加者総勢55名がチャーターバスでスタジアム入り。キックオフからゲームセットまで大声援を送り、大いに楽しんで観戦していただけたようです。そのエールが通じたのか、セレッソ大阪は見事3-2で勝利。森島寛晃選手と一緒に記念撮影も行い、未来のサッカー

選手たちにとって、プロの選手に間近で触れた貴重な一日となりました。



セレッソ大阪オリジナル応援グッズでガンバレー!!

## 岡本一斉クリーン作戦が行われました

9月8日、甲南大学、岡本商店街振興組合、東灘区まちづくり支援課、本山中央婦人会、美しい街岡本協議会、中央自治会、甲南女子大学、神戸市の関係部局が協力して岡本一斉クリーン作戦を実施しました。

甲南大学からは、学生約180名が参加し、通学路や岡本駅・摂津本山駅周辺の、ガム取り、ゴミ拾い、草抜きを行うと同時に、着ぐるみ姿で、「タバコのポイ捨て禁止」、「ゴミの分別」を呼びかけました。

## 「黒帯で世界をつなごう!」甲南大学柔道部率いる神戸市友好使節団がヨーロッパ遠征へ出発

9月11日、本学柔道部の学生26名が中心メンバーとなる神戸市友好使節団(39名、団長 山崎俊輔 本学スポーツ・健康科学教育研究センター教授及び柔道部監督、監督 曾我部晋哉 スポーツ・健康科学教育研究センター講師)がフランス・スイス遠征へ出発しました。当遠征の模様については次号でお知らせいたします。

## 新刊レビコ

甲南大学の教員と卒業生が執筆した



セクシィ古文!  
田中貴子 著  
[甲南大学文学部教授]  
メディアファクトリー  
¥925(税込)



テレワーク  
「未来型労働」の現実  
佐藤彰男 著  
[1975年甲南高等学校卒、1979年甲南大学文学部卒、1981年甲南大学大学院修了]  
岩波新書 ¥735(税込)



僕たちの終末  
機本伸司 著  
[1979年甲南大学理工学部卒]  
ハルキ文庫 ¥924(税込)



きほんからわかる  
「モチベーション」理論  
池田光 著  
[1975年甲南高等学校卒、1979年甲南大学文学部卒]  
イースト・プレス ¥1,400(税込)



SEのための  
DOA再入門講座  
山中美智子 著  
[1999年甲南大学文学部卒]  
ソフト・リサーチ・センター  
¥1,995(税込)



スロー風土の食卓から  
粉川妙 著  
[1998年甲南大学文学部卒]  
扶桑社 ¥1,365(税込)



## キャリアセンタースケジュール

- 1・2年次 対象**  
**ピカピカセミナー2008年(10月実施)**  
 履歴書の書き方講座(10/6)  
 書き方のポイントを学ぼう  
 S P I にチャレンジ(10/29)  
 実際の S P I 問題に触れてみよう!
- 2年次 対象**  
**適性テスト「V P I 職業興味検査」(10/6)**  
 興味を持っている職業の分野ってなんだろう。そんなことを実際に挙げられた160個もの職業名から探っていきます。キャリアセンタースタッフとのグループワークを通して、進路の選択肢を明確にしていきます。
- 3年次 対象**  
**申込不要・無料の講座**  
**地元就職希望者向けセミナー(10/10)**  
 U ー ターン希望者向けの講座です。  
**就活の壺②(講座)(10/6・7・9)**  
 企業に対する自己 P R として重要なエントリーシートの書き方を身につけよう!  
**企業分析講座(10/15・16・20)**  
 自分の目指す企業はどんなところ? 企業を分析するうえで必要な知識や視点を身につけよう!  
**面接マナー講座(10/21・24)**  
 どのような面接スタイルがあるのか、面接でどのように自己 P R するのかなどを学びます。  
**第3回就職ガイダンス(11/3・6)**  
 志望企業へのコンタクトも目前に。進路決定につながる学部別ガイダンスです。4年次先輩の就職活動報告会もあります。  
**S P I 試験フオー講座(11/10・12)**  
 10月14日・15日に実施する S P I 模擬試験のフオー講座です。自分の弱点がわかります。  
**O B ・ O G 懇談会(11/29)**  
 ささまざまな企業で活躍する卒業生を招き、実際の仕事内容について聞きます。
- 各種業界研究講座(申込不要・無料)**  
 業界研究講座(金融)(10/1)  
 業界研究講座(マスコミ)(10/2)  
 業界研究講座(メーカー)(10/3)  
 業界研究講座(建設・不動産・住宅)(10/6)  
 業界研究講座(商社)(10/8)
- 事前申込が必要な講座(無料)**  
**就活の壺②(ワーク)(10/15・16・17・20・22)**  
 10月6日・7日・9日の就活の壺②(講座)を受けたあと、もって対策を練りたいという人向け。少人数できめ細やかな指導を受けることができます。  
**面接対策(グループディスカッション)(10月中旬実施予定)**  
 面接でよく用いられる「グループディスカッション」をどう勝ち残るか、まずは体験しよう!  
**面接対策(グループワーク)(10月中旬実施予定)**  
 面接でよく用いられる「グループワーク」をどう勝ち残るか、まずは体験しよう!  
**キャリアデザイン科目・集中講義(就職活動対策・早期集中講座)(10/23・30・11/6・13・27)**  
 自己分析や面接などの就職活動対策について、キャリアコンサルタントの本田・ボンタ・勝裕先生と一緒に実践的に学びます。  
**企業研究セミナー(11月・実施予定)**  
 各企業が大学で会社説明会を開催。企業と接するチャンスです。  
**事前申込が必要な講座(無料)**  
**S P I 模擬試験・エントリーシート対策模試(10/14・15)**  
 多くの企業で、適性確認の手段として用いられる S P I テストの模擬試験。エントリーシートは自宅受験で、添削を受けることができます。  
 申込日: 10/1・2  
**センサップ講座(女子学生向け)(10/27・31)**  
 自分にあったビジネススーツの選び方、ナチュラルメイクの仕方などを学ぼう!

甲南大学にて  
東灘区じどうかんジャンボリーを開催しました

9月6日、甲南大学において、東灘区の児童館を利用する小学生がゲームやスポーツを楽しむ「東灘区じどうかんジャンボリー」を開催し、昨年を300名上回る約900名が参加しました。この催しは、本学が神戸市東灘区と締結した「地域連携協力に関する協定」の一環として開催され、今年で第3回目となります。

開会式では高阪学長が、「甲南大学をつつた平生飢三郎という人は、いつも学生たちに『正しく強く朗らかに』と言っていました。そして、スポーツは、ルールを守って、正々堂々と全力を尽くして戦うように教えました。これをフエアブリーの精神といえます」とあいさつした後、子どもさんたちと一緒に「正しく強く朗らかに」と大きな声で唱和しました。

グラウンドでは巨大なゴム製ボールを投げ合う「ジャンボドッジボール大会」や、5号館では各児童館がスーパースターボールを出店し、楽しい一日となりました。また地域ボランティアにまじり、甲南大生もお手伝いしました。



スーパースターボールすくいを楽しむ子どもたち。

8月30日、  
兵庫県立芸術文化センターで開催された  
「2008佐渡裕」  
スーパースターオーケストラに  
甲南大学が協力いたしました。

スーパースターオーケストラとは、日本を代表する指揮者、佐渡裕さんがオーディションで選抜した子どもたちでオーケストラを編成し、厳しい練習の成果を披露するコンサートです。今回、甲南大学は、提供という形でこのコンサートを応援いたしました。佐渡さんの、スーパースターオーケストラに向けた愛情あふれる指導には定評があり、技術的にはもちろん、精神的にも大きく成長したキッズの姿が聴衆の胸を打つ素晴らしいステージでした。

西宮北口にある芸術文化ホールのお隣に新しいキャンパス「マネジメント創造学部」を構える甲南大学に対し、佐渡氏より、「今後ともお互いに協力していきましょう」とコメントをいただきました。

近々、甲南大学と佐渡氏またはスーパースターオーケストラのコンサート企画が実現するかも知れません。ご期待ください!



## ● 体育会戦績報告 ●

入賞された方 おめでとございます!  
また、そうでない方も健闘お疲れさまでした!

### 【柔道部】

第16回関西学生女子柔道優勝大会  
 (於: 尼崎市記念公園総合体育館)  
 ● 5/25(日)  
 本大会において、津田真子(法4)、奥谷晴加(法3)、阿多美奈子(法3)が、3人制団体戦で第3位となりました。関西大会入賞は14年ぶりの快挙となります。

関西学生柔道体重別大会(於: 岸和田市総合体育館)  
 ● 9/6(土)  
 清水博紀(法2)・100kg級第3位、富松陵(文3)・81kg級ベスト8  
 同女子選手権大会  
 奥谷晴加(法3)・78kg級第3位

【漕艇部】  
 関西選手権競漕大会(於: 大阪・浜寺漕艇場)  
 ● 8/2(土)・3(日)  
 笠間健(理工4)・堀川皓平(理工4)・ベア・ダブリスル種目優勝  
 小櫻洋平(経4)・高木優二(営3)・朝田裕貴(文2)・西岡祐人(理工4)・4人漕ぎクオドルプル種目3位  
 全日本大学選手権大会  
 (於: 埼玉・戸田オリンピックボートコース)  
 ● 8/21(木)・24(日)  
 笠間健(理工4)・堀川皓平(理工4)・ベア・ダブリスル種目4位(4クルー中)  
 昨年に引き続いての2年連続インカレ4位入賞の快挙となります!

### 【弓道部】

第56回全日本学生弓道選手権大会  
 (於: グリーンアリーナ神戸)  
 ● 8/9(土)・8/11(月)  
 皇田由布子(文3)、北國由布子(法4)、屋敷尚子(法4)、女子団体ベスト8  
 屋敷尚子(法4)、女子個人10位  
 全日本学生弓道遠征選手権大会  
 (於: 神戸総合運動公園球技場特設弓道場)  
 ● 8/12(火)  
 前田明子(文1)、個人戦第5位

### 【硬式テニス部(高中)】

第35回全国中学生テニス選手権大会  
 (於: 名古屋・東山公園テニスセンター)  
 ● 8/19(火)・20(水)  
 ベスト4に入る健闘ぶりでした。

### ● 国体出場報告 ●

樋口唯(営4)・アーチエリ・兵庫代表、後藤太志(営4)・ゴルフ(成年男子の部)兵庫代表、森本真弥(営4)・井上敬文(理工4)・セリリング(成年男子の部)兵庫代表、植山淳也(営1)・ヨット(470級2人乗り)・大分代表、百々恭平(法3)・バスケットボール(一般男子の部)香川代表

## ● 今後の予定 ●

### 2008 年度甲南大学教育懇談会

**東海地区**  
 【日 時】2008年10月12日(日) 午前11時30分から  
 【場 所】名古屋市: ホテル名古屋ガーデンパレス  
 【対象地区】愛知、岐阜、静岡、三重、滋賀、山梨、長野、石川、富山

**九州地区**  
 【日 時】2008年10月12日(日) 午前11時30分から  
 【場 所】福岡市: 博多パークホテル  
 【対象地区】福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、山口

**中国地区**  
 【日 時】2008年11月16日(日) 午前11時30分から  
 【場 所】広島市: ホテルグランヴィア広島  
 【対象地区】広島、岡山、鳥取、島根、山口

**四国地区**  
 【日 時】2008年11月16日(日) 午前11時00分から  
 【場 所】松山市: 松山全日空ホテル  
 【対象地区】愛媛、香川、高知、徳島

文化講演会(四国地区) 高阪学長 午後2:30~

「東洋一の大学を目指してー創業者 平生飢三郎の夢ー」  
 当講演では、政財界で華々しい活躍をしながらも、自らの理想を実現するために、教育にすべてを投じた甲南学園創立者 平生飢三郎がどのような人物であったのかをお話いたします。

## イベントスケジュール

### EVENTS SCHEDULE

- 9月**  
 ● 前期卒業証書学位記授与式(18日)  
 ● 後期授業開始(19日)
- 10月**  
 ● 村木毅教授(理工学部物理学科)「N Z x リット軌章叙勲記念講演会(10日)」  
 ● 秋期オープンキャンパス(25日)
- 11月**  
 ● 第44回摂津祭(20日・24日)
- 12月**  
 ● 後期授業一旦終了(22日)  
 ● 冬期休業(23日・1月4日)

## 「JR東京駅日本橋口」に直結! ネットワークキャンパス東京 イベントスケジュール

どなたでもご参加いただけます

**10月**  
 田中修教授(理工学部生物学科)の楽しい植物学入門講座「植物の生き方を知り、花と緑の魅力に迫ろう!」(18日、11月8日)

フランス甲南学園トウレーヌ提携講座「シヨラティエ土屋シェフが語る魅惑のシヨラ」(18日)

公開講座  
 「平生飢三郎 今日に繋がる日伯交流への埋もれた偉業」今、求められる世界観と経営者」(25日)

**11月**  
 法科大学院連続講座  
 「国際化時代の企業と法のダイナミクス」グローバル時代における企業のあり方」(7日・28日)

詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.konan-u.ac.jp/tokyo/>  
 お問い合わせ: TEL: 03-6568-8501 FAX: 03-6568-8502  
 e-mail: track@odan.konan-u.ac.jp

## アンケートPRESENT

10名様

### 甲南大学オリジナルクリアファイル (3枚1セット)

甲南大学オリジナルクリアファイル3種類を1セットにして、10名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、同封のアンケートハガキにてお申し込みください。



応募締切  
10月30日到着まで

次号は2008年12月発行予定

甲南Today NO.31

発行日/2008年10月1日  
 発行/甲南学園広報部  
 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1  
 TEL (078) 431-4341 (代)  
 印刷/大日本印刷株式会社